

I 文学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	教養	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
基礎ゼミ	導入演習 (国際言語・文化)	○	○	○	○	○
	導入演習 (史学・文化財)	○	○	○	○	○
	導入演習 (人間関係)	○	○	○	○	○
	基礎演習 (国際言語・文化)	○	○	○	○	○
	基礎演習 (史学・文化財)	○	○	○	○	○
	基礎演習 (人間関係)	○	○	○	○	○
コア1 学際科目	大学史と別府大学	○	○	○	○	○
	グローバルと文化	○	○	○	○	○
	キャリア教育 I	○	○	○	○	○
	キャリア教育 II	○	○	○	○	○
	インターンシップ基礎	○	○	○	○	○
	インターンシップ I	○	○	○	○	○
	インターンシップ II	○	○	○	○	○
	インターンシップ III	○	○	○	○	○
	市民生活とアーカイブズ	○	○	○	○	○
	NPO論	○	○	○	○	○
	トップマネジメント講話	○	○	○	○	○
	手話	○	○	○	○	○
	地域と世界農業遺産	○	○	○	○	○
	世界農業遺産体験演習	○	○	○	○	○
	世界農業遺産マネジメント演習	○	○	○	○	○
	地域社会フィールドワーク演習	○	○	○	○	○
	災害支援と防災対策	○	○	○	○	○
	汎領域研究 1 (単位互換)	○	○	○	○	○
	汎領域研究 2 (単位互換)	○	○	○	○	○
汎領域研究 3 (単位互換)	○	○	○	○	○	
汎領域研究 4 (単位互換)	○	○	○	○	○	
コア2 人間と文化の 探求	文学	○	○	○	○	○
	哲学	○	○	○	○	○
	倫理学	○	○	○	○	○
	生命倫理学	○	○	○	○	○
	心理学 I	○	○	○	○	○

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
コア科目	心理学Ⅱ	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○	○	○	
	歴史学		○	○			
	文化史		○	○			
	科学史		○				
	社会思想史		○	○			
	体育実技Ⅰ		○		○		
	体育実技Ⅱ		○		○		
	スポーツと健康		○	○		○	
	コア3 現代社会の多面的理解	法学(日本国憲法)	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○	○		○
	法律学	○		○		○	
	行政法	○		○		○	
	経済学	○		○		○	
	社会学	○					
	地域福祉論	○					
	社会調査法	○					
	政治学	○		○	○		○
	マスコミ論	○		○		○	
	国際関係論	○		○		○	
	地域環境論	○					
	国際理解Ⅰ	○				○	○
	国際理解Ⅱ	○					
	ボランティア活動論	○		○			○
	人権教育論	○		○			
	コア4 科学と情報	生物学	自然環境の理解に必要な教養を身につける	○	○		
	数学基礎Ⅰ	○					
	アルゴリズムとプログラミング	○				○	
	化学基礎	○				○	○
	科学技術論	○					
	科学と社会	○					
	情報リテラシー	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○			○	○
	数理・データサイエンス入門		○				○
	論理学		○	○			
	統計学Ⅰ		○	○			
	データサイエンス基礎		○				
	データエンジニアリング基礎		○				○
	AI基礎		○				
	コア5 国際理解のための言語	英語1	外国語の基礎的なコミュニケー	○	○	○	○
	英語2	○		○		○	
	英語3	○		○	○	○	○
	英語4	○		○	○	○	○
	英語5	○					
	英語6	○					
TOEIC1	○	○		○		○	
TOEIC2	○	○		○		○	
TOEIC3	○	○		○			
TOEIC4	○	○		○			
英語語彙1	○						
英語語彙2	○						
英語ステップアップ演習1	○	○			○		
英語ステップアップ演習2	○	○			○		
ドイツ語基礎1	○				○		
ドイツ語基礎2	○				○		
ドイツ語コミュニケーション1	○				○		

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
	ドイツ語コミュニケーション2	コミュニケーション能力を身につける	○		○	
	フランス語基礎1		○	○	○	
	フランス語基礎2		○	○	○	
	フランス語コミュニケーション1		○			
	フランス語コミュニケーション2		○			
	中国語基礎1		○	○	○	
	中国語基礎2		○	○	○	
	中国語コミュニケーション1		○	○	○	
	中国語コミュニケーション2		○	○	○	○
	韓国語基礎1		○		○	
	韓国語基礎2		○		○	
	韓国語コミュニケーション1		○		○	
	韓国語コミュニケーション2		○		○	
	海外語学研修1		○	○	○	
	海外語学研修2		○	○	○	
	海外語学研修3		○	○	○	
	海外語学研修4	○	○	○		

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	総合日本語1 (読む・書く)	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける	○	○	○	
	総合日本語2 (読む・書く)		○	○	○	
	総合日本語3 (聴く・話す)		○		○	
	総合日本語4 (聴く・話す)		○		○	
	アカデミック日本語1 (口頭発表)		○		○	○
	アカデミック日本語2 (口頭発表)		○		○	○
	アカデミック日本語3 (論文作成)		○		○	
	アカデミック日本語4 (論文作成)		○		○	
	アカデミック日本語5 (言語知識)		○		○	
	アカデミック日本語6 (言語知識)		○		○	

3. 文学部専門科目群

1) 文学部共通専門科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
人文系	日本文学概論	○	○	○		
	言語学概論	○	○		○	
	言語習得概論	○		○		
	書道概論	○	○	○		
	漢字かな交じり書(書写を含む)	○	○	○		
	楷書(書写を含む)	○	○	○		
	行書(書写を含む)	○	○	○		
	英米文学概論	○	○			
	英文法 1	○				
	英文法 2	○				
	美術史概論	○	○	○	○	
	考古学概論	○	○	○	○	
	文化財科学概論	○	○			
	世界遺産学概論	○		○		
	比較文化研究	○		○	○	
	世界遺産研究 (国外)	○				
	世界遺産研究 (国内)	○	○	○	○	
	異文化共有論	○	○	○		
	図書館概論	○	○			
	図書館サービス概論	○				
情報サービス論	○					

区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
	児童サービス論		○				
	博物館概論		○				
	博物館教育論		○	○			
	博物館情報・メディア論		○				
	デジタルアーカイブズ		○		○		○
	知的財産所有論		○				
社会科学系	文化人類学	社会科学系の入門的・概論的な知識を修得する	○	○			
	民俗学概論		○			○	
	環境歴史学概論		○				
	地方自治論		○	○			
	生涯学習論Ⅰ		○				
	生涯学習論Ⅱ		○				○
	地域創造と経営Ⅰ		○	○			
	地域創造と経営Ⅱ		○	○			
芸術系	マンガ概論	芸術系の入門的・概論的な知識を修得する	○	○			○
	芸術表現Ⅰ		○	○		○	
	芸術表現Ⅱ		○		○	○	
	芸術表現Ⅲ		○		○		
	芸術表現Ⅳ		○	○		○	
	デザイン概論		○	○	○		
	社会とデザインⅠ		○	○	○		
	社会とデザインⅡ		○	○	○		
	アートマネジメント		○				
	日本語系		ビジネス日本語（聴読解） 1	専門の学修に必要な日本語能力を高める	○	○	
ビジネス日本語（リーディング） 2		○					
ビジネス日本語（ライティング） 1		○				○	
ビジネス日本語（ライティング） 2		○				○	
ビジネス日本語（コミュニケーション） 1		○			○	○	
ビジネス日本語（コミュニケーション） 2		○			○	○	
総合系	地域社会連携PBL 1	専門の学修を深めるための分野横断的・総合的な知識・技能を修得する	○	○	○	○	○
	地域社会連携PBL 2		○	○	○	○	○
	地域社会連携PBL 3		○	○	○	○	○

2) 国際言語・文化学科専門科目カリキュラムマップ (令和8年度入学生)

学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)						
		専門力	思考力	実行力	表現力	情報力		
演習科目	発展演習	発展演習 1 (国際言語・文化)	専門の基礎的な知識・能力を高める	○	○	○	○	○
	発展演習 2 (国際言語・文化)	○		○	○	○	○	
	専門演習	専門演習 1 (古典文学)	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる	○	○	○	○	○
		専門演習 1 (近代文学)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (日本語学)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (英語学・英米文学)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (絵画)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (デザイン)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (マンガ)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (映像・アニメーション)		○	○	○	○	
		専門演習 1 (言語文化)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (古典文学)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (近代文学)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (日本語学)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (英語・英米文学)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (絵画)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (デザイン)		○	○	○	○	
		専門演習 2 (マンガ)		○	○	○	○	
	専門演習 2 (映像・アニメーション)	○	○	○	○			
	専門演習 2 (言語文化)	○	○	○	○			
	卒業演習	卒業演習 1 (日本語・日本文学)	テーマを絞って専門の学修を深め、4年間の集大成となる卒業論文(卒業制作)又は卒業研究を完成させる	○	○	○	○	○
		卒業演習 1 (英語・英米文学)		○	○	○	○	
		卒業演習 1 (芸術表現)		○	○	○	○	
		卒業演習 2 (日本語・日本文学)		○	○	○	○	
		卒業演習 2 (英語・英米文学)		○	○	○	○	
	専門基礎科目	日本文学史	上代から近現代にいたる日本文学の歴史、外国文学の影響、表現技法の特色などを古典や名著を精読して理解し、作家・作品研究の基礎を身につける	○	○	○	○	○
日本文学基礎		○		○	○	○		
日本語学基礎		○		○	○	○		
日本文学講義 1 (古典文学 1)		○		○	○	○		
日本文学講義 2 (古典文学 2)		○		○	○	○		
日本文学講義 3 (近代文学 1)		○		○	○	○		
日本文学講義 4 (近代文学 2)		○		○	○	○		
漢文学概論		○		○	○	○		

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)						
		専門力	汎用力					
			思考力	実行力	表現力	情報力		
学科専門科目	日本語学講義 1 (音声言語)	日本語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、日本語研究の基礎能力を身につける	○			○		
	日本語学講義 2 (日本語の語彙)		○			○		
	日本語学講義 3 (日本語の文法)		○			○		
	日本語学講義 4 (日本語史)		○	○				
	日本語教育概論 1	日本語教育について知識と技術を習得する。	○	○	○			
	日本語教育概論 2		○	○				
	日本語教育教材論		○	○				
	日本語教育キャリア形成論		○	○				
	英会話 1	英米文学作品を精読し、英語力、作品が生まれた文化や歴史に必要な知識を修得する	○			○	○	
	英会話 2		○			○	○	
	英文学史		○				○	
	米文学史		○	○		○	○	
	英米文学講読		○		○			
	英米文学作品研究 I		○		○		○	
	英米文学作品研究 II		○		○		○	
	日英比較文化論		○	○				
	アメリカンスタディーズ		○	○		○	○	
	言語文化論 I		異なる文化を比較しながら、言葉、文化等についての理解を深め、比較文化研究の基礎能力を身につける	○		○	○	
	言語文化論 II	○			○	○		
	比較文化論 I	○		○	○	○	○	
	比較文化論 II	○		○	○		○	
	日本美術史概論	絵画、演劇などの芸術作品を鑑賞し、芸術の多様な表現、理論、歴史に関する知識を修得し、美術史研究の基礎能力を身につける	○	○		○	○	
	東洋美術史概論		○	○			○	
	西洋美術史概論		○			○		
	芸術と環境 I		○	○				
	芸術と環境 II	○	○					
	絵画技法 I	マンガ、デザイン、映像・アニメーション、絵画の作品を創作する知識・技能を身につける	○	○		○		
	絵画技法 II		○	○		○		
	絵画表現		○	○				
	基礎デザイン		○		○	○		
	経営とデザイン I		○	○	○			
	経営とデザイン II		○	○				
	デッサン I		○	○				
	彫塑 I		○	○			○	
	工芸 I		○	○		○		
	造形演習 I		○		○			
	マンガ基礎技術 I		○			○		
	マンガ基礎技術 II		○		○	○	○	
	アニメーション概論		○			○		
	キャラクター制作		○			○		
	マンガメディア表現		○	○		○		
	映像・アニメーション I		○	○				
	映像・アニメーション II		○		○			
	カラー・イメージデザイン I		○	○		○		
	カラー・イメージデザイン II		○	○	○	○		
	AI・データサイエンス実践		○		○		○	
	日本語・日本文学	日本文学研究 1 (古典文学 1)	上代から近現代にいたる日本文学の歴史、外国文学の影響、表現技法の特色などを古典や名著を精読して理解し、作家・作品研究の基礎を身につける	○		○	○	
		日本文学研究 2 (古典文学 2)		○	○		○	
		日本文学研究 3 (近代文学 1)		○	○			○
		日本文学研究 4 (近代文学 2)		○	○			○
日本文学研究 5 (現代文学 1)		○		○			○	
日本文学研究 6 (現代文学 2)		○		○			○	
漢文学特論		○		○	○			

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)						
		専門力	汎用力					
			思考力	実行力	表現力	情報力		
コース専門科目	日本語学研究 1 (文法研究)	日本語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、日本語研究の基礎能力を身につける	○	○				
	日本語学研究 2 (現代語研究)		○			○		
	日本語学研究 3 (文字表記研究)		○			○		
	日本語学研究 4 (古代語研究)		○	○				
	英語・英米文学	英会話 3	英文を正確に記述し、会話できる能力を身につける	○		○	○	
		英会話 4		○		○	○	
		英会話 5		○		○		
		英会話 6		○		○		
		英語学概論	英語について音声や語彙、文法、歴史等に関する知識を多角的に修得し、英語研究の基礎知識を身につける	○	○			○
		英語音声学		○			○	
		英語学講義 1		○	○	○		
		英語学講義 2		○	○	○		
		C.E.C. (Composition for English Communication)1		○		○	○	
		C.E.C. (Composition for English Communication)2		○		○	○	
		A.L.E. (Active Learning of English)1		○	○	○	○	
		A.L.E. (Active Learning of English)2		○	○	○	○	
		現代英語圏文化特講 1		○	○		○	
		現代英語圏文化特講 2		○	○		○	
	芸術総合	美術工芸論	文化としての言葉や芸術等についての幅広い知識を修得し、美術史研究と比較文化研究の基礎能力を身につける	○	○			○
		比較文化特論 I		○	○	○		○
		比較文化特論 II		○	○			
		言語文化特論 I		○	○			
		言語文化特論 II	○	○				
		絵画実習基礎	○		○			
		絵画実習応用	○		○			
		絵画実習実践	○	○			○	
		芸術専門 I	○		○	○		
		芸術専門 II	○	○			○	
		芸術専門 III	○		○		○	
		芸術専門 IV	○		○	○		
		C G 演習 I	マンガ、デザイン、映像・アニメーション、絵画の作品を創作する知識・技能を身につける	○		○		
		C G 演習 II		○			○	
		編集演習 I		○	○	○	○	
編集演習 II	○	○			○			
デザイン実習	○	○		○				
グラフィックデザイン I	○	○		○	○			
グラフィックデザイン II	○	○		○	○			
卒業論文	4年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、論文の作成、芸術作品の創作等を行う	○		○	○	○	○	
卒業制作		○		○	○	○	○	
卒業研究		○		○	○	○	○	

3) 史学・文化財学科専門科目カリキュラムマップ（令和8年度入学生）

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
（ ディプロマ 成果の目標 ポリシー）	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
演習科目	発展演習	発展演習 1 (史学・文化財学)	○	○	○	○
		発展演習 2 (史学・文化財学)	○	○	○	○
	専門演習	専門演習 1 (旧石器・縄文考古学)	○			
		専門演習 1 (弥生・古墳考古学)	○	○		○
		専門演習 1 (歴史考古学)	○		○	○
		専門演習 1 (保存修復学)	○		○	○
		専門演習 1 (東洋史)	○			
		専門演習 1 (西洋史)	○			○
		専門演習 1 (古代・中世史)	○	○		○
		専門演習 1 (近世史)	○		○	
		専門演習 1 (近現代史)	○	○		○
		専門演習 1 (アーカイブズ学)	○			
		専門演習 1 (民俗学)	○	○	○	○
		専門演習 2 (旧石器・縄文考古学)	○			
		専門演習 2 (弥生・古墳考古学)	○	○		○
		専門演習 2 (歴史考古学)	○		○	○
		専門演習 2 (保存修復学)	○		○	○
		専門演習 2 (東洋史)	○			
		専門演習 2 (西洋史)	○			○
		専門演習 2 (古代・中世史)	○	○		○
		専門演習 2 (近世史)	○			○
		専門演習 2 (近現代史)	○	○		○
	専門演習 2 (アーカイブズ学)	○				
	専門演習 2 (民俗学)	○	○	○	○	

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
卒業演習	卒業演習1 (考古学・文化財科学)	テーマを絞って専門の学修を深め、4年間の集大成となる卒業論文(卒業制作)又は卒業研究を完成させる	○	○	○	○	○
	卒業演習1 (東洋史)		○				
	卒業演習1 (西洋史)		○				
	卒業演習1 (古代・中世史)		○	○	○	○	○
	卒業演習1 (近世史)		○			○	
	卒業演習1 (近現代史)		○	○	○		○
	卒業演習1 (アーカイブズ学)						
	卒業演習1 (民俗学)		○	○			
	卒業演習2 (考古学・文化財科学)		○	○	○	○	
	卒業演習2 (東洋史)		○				
	卒業演習2 (西洋史)		○				
	卒業演習2 (古代・中世史)		○	○	○	○	
	卒業演習2 (近世史)		○			○	
	卒業演習2 (近現代史)		○	○		○	○
	卒業演習2 (アーカイブズ学)						
	卒業演習2 (民俗学)		○			○	
学 科 専 門 科 目	アーカイブズ論	日本史・アーカイブズ学の学修に必要な基礎的な知識を修得する	○			○	
	アーカイブズ管理論		○		○		
	レコードマネジメント論Ⅰ		○		○		
	レコードマネジメント論Ⅱ		○	○	○		
	日本史の基礎1		○	○			
	日本史の基礎2		○	○			
	世界史の基礎1 (西洋史)		○				
	世界史の基礎2 (東洋史)		○	○			
	地理学の基礎		○	○	○	○	○
	日本史講義1 (古代・中世史料論)		○	○		○	○
	日本史講義2 (近世史料論)		○	○			
	日本史講義3 (近現代史料論)		○	○			
	世界史講義1 (東洋史)		○				
	世界史講義2 (西洋史)		○	○			
	世界史講義3 (文明史)	○	○				
	民俗学講義	○					
	考古学講義1 (先史考古資料論1)	○	○				
	考古学講義2 (先史考古資料論2)	○					
	考古学講義3 (歴史考古資料論)	○	○				
	文化財科学講義 (文化財保存学)	○	○			○	
史学概論	○	○					
歴史地理	○	○					
社会学概論	○	○	○	○	○		
経済学概論	○	○			○		
法学概論	○	○					
政治学概論	○	○	○		○		

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
	法制史	歴史学・文化財科学に 関係の深い分野の基礎的知識 を修得する	○	○		
	国際関係概論		○	○		○
	国際交渉論		○	○	○	○
	宗教史		○	○		○
	美術工芸論		○			
	人類学総論		○			○
	文化財保護論		○	○		○
	観光文化財論		○			
	環境史		○	○		○
	環境植生論		○	○	○	
	地誌学		○	○		○
	博物館資料論		○		○	○
	博物館経営論		○	○		
	A I ・ データサイエンス実践		○		○	○
考古学・ 文化財科学	考古学特講 1 (先史考古学)	考古学・文化財科学の専門 領域をさらに深めるための 知識を修得する	○	○		○
	考古学特講 2 (歴史考古学)		○	○		
	考古学特講 3 (考古学史)		○			
	文化財科学特講 1 (科学分析)		○			
	文化財科学特講 2 (保存修復)	○	○	○		
	考古学実習 I (調査整理法)	考古学・文化財科学の専門 領域に関する深い知識を修 め、調査や発掘、科学分析 等の技能を体験的に修得 する。	○		○	○
	考古学実習 II (調査整理法)		○	○	○	○
	文化財科学実習 I (機器分析)		○	○		
	文化財科学実習 II (修復)		○	○	○	
	埋蔵文化財実習 I (遺跡発掘)		○	○	○	○
	埋蔵文化財実習 II (遺跡発掘)		○	○	○	○
	埋蔵文化財実習 III (インターンシップ)		○	○	○	
	文化財科学実習 III (インターンシップ)		○	○	○	○
	世界史	世界史特講 1 (東洋史)	世界史の専門領域に 関する深い知識を修め、歴史 についての多角的な理解、洞 察力を身につける	○		
世界史特講 2 (西洋史)		○		○		
世界史特講 3 (文明史)		○				○
世界史文献講読 1 (東洋史)		○		○		○
世界史文献講読 2 (西洋史)		○		○		
日本史・ アーカイブズ	日本史特講 1 (古代・中世史)	日本史の専門領域に 関する深い知識を修め、歴史 についての多角的な理解、洞 察力を身につけている	○		○	○
	日本史特講 2 (近世史)		○	○		
	日本史特講 3 (近現代史)		○	○		
	民俗学特講		○			
	アーカイブズ実習 I	アーカイブズ学の知識・技 能を実習を通して修得する	○			
	アーカイブズ実習 II		○	○		
	日本史実習		○	○		○
	民俗学実習		○			
卒業論文	卒業論文	4年間の学修の総仕上げと して、自らテーマを設定し、 研究を行い、論文にまとめ る	○	○	○	○
	卒業研究		○			

4) 人間関係学科専門科目カリキュラムマップ (令和8年度入学生)

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		専門力	思考力	実行力	表現力	情報力	
演習科目	発展演習	発展演習 1 (人間関係)	○	○	○	○	○
		発展演習 2 (人間関係)	○	○	○	○	○
	専門演習	専門演習 1 (社会福祉)	○	○	○	○	○
		専門演習 1 (心理)	○	○	○	○	○
		専門演習 1 (教育・生涯スポーツ)	○	○	○	○	○
		専門演習 2 (社会福祉)	○	○	○	○	○
		専門演習 2 (心理)	○	○	○	○	○
		専門演習 2 (教育・生涯スポーツ)	○	○	○	○	○
	卒業演習	卒業演習 1 (社会福祉)	○	○	○	○	○
		卒業演習 1 (心理)	○	○	○	○	○
		卒業演習 1 (教育・生涯スポーツ)	○	○	○	○	○
		卒業演習 2 (社会福祉)	○	○	○	○	○
		卒業演習 2 (心理)	○	○	○	○	○
		卒業演習 2 (教育・生涯スポーツ)	○	○	○	○	○
	専門基礎科目	社会学と社会システム	○	○			
心理学と心理的支援		○			○		
社会福祉の原理と政策 I		○	○	○			
社会福祉の原理と政策 II		○	○				
ソーシャルワークの基盤と専門職 I		○	○				
ソーシャルワークの基盤と専門職 II		○	○				
心理学概論 I		○			○		
心理学概論 II		○			○		
公認心理師の職責		○		○		○	
心理学統計法		○	○	○			
神経・生理心理学		○				○	
現代の精神保健の課題と支援 I		○	○				
現代の精神保健の課題と支援 II		○					
医学概論		○				○	
人体の構造と機能及び疾病		○				○	
社会・集団・家族心理学		○	○	○			
産業・組織心理学		○	○		○		
学習・言語心理学		○	○				
レクリエーション指導法	○						

学科専門科目

福祉サービスの組織と経営	社会福祉、精神保健福祉、 心理、教育・生涯スポーツ の各分野の基礎的な知識、 技能を修得する	○					
高齢者福祉		○	○			○	
障害者福祉		○					○
児童・家庭福祉		○	○				
刑事司法と福祉		○	○				
貧困に対する支援		○	○		○		○
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		○	○				○
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		○	○				○
権利擁護を支える法制度		○	○				
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		○	○				
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		○	○				
保健医療と福祉		○	○				○
精神保健福祉制度論		○	○				
精神保健福祉の原理Ⅰ		○	○	○			
精神保健福祉の原理Ⅱ		○	○	○			
精神疾患とその治療Ⅰ		○			○		○
精神疾患とその治療Ⅱ		○			○		○
精神医学と精神医療Ⅰ		○			○		○
精神医学と精神医療Ⅱ		○			○		○
社会保障Ⅰ		○	○		○		○
社会保障Ⅱ		○	○	○			○
社会福祉調査の基礎		○	○		○		
社会学概論		○	○	○	○		○
経済学概論		○	○				○
哲学概論		○	○				
A I・データサイエンス実践		○		○			○
災害支援チーム医療論	○	○	○	○		○	
社会福祉領域	社会福祉、精神保健福祉の 分野の専門的な知識を修 得し、現場での実践力を身 につける。	○	○			○	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		○	○	○			
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		○	○	○			
ソーシャルワーク演習Ⅰ		○	○	○	○		
ソーシャルワーク演習Ⅱ		○	○		○		
ソーシャルワーク演習Ⅲ		○	○		○		
ソーシャルワーク演習Ⅳ		○	○	○	○		
ソーシャルワーク演習Ⅴ		○	○		○	○	
ソーシャルワーク実習Ⅰ		○	○	○		○	
ソーシャルワーク実習Ⅱ		○	○	○		○	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		○	○	○	○		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		○	○	○	○		
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		○	○		○		
精神障害リハビリテーション論		○	○				
福祉特別演習Ⅰ		○	○				
福祉特別演習Ⅱ		○	○				
福祉特別演習Ⅲ	○	○	○				

コース専門科目	心理領域	感情・人格心理学	心理の分野の専門的な知識を修得し、現場での実践力を身につけている。	○	○			
		障害者・障害児心理学		○	○		○	
		健康・医療心理学		○	○	○	○	
		福祉心理学		○	○	○	○	○
		教育・学校心理学		○	○	○		
		司法・犯罪心理学		○	○			
		関係行政論		○	○			
		心理学研究法		○		○	○	
		知覚・認知心理学		○	○	○		
		発達心理学概論		○	○			
		心理学実験Ⅰ		○	○		○	
		心理学実験Ⅱ		○	○		○	
		臨床心理学概論		○	○			
		心理学的支援法Ⅰ		○	○	○		
		心理学的支援法Ⅱ		○	○	○		
		心理的アセスメントⅠ		○	○		○	
		心理的アセスメントⅡ		○	○		○	
		心理演習Ⅰ		○	○	○		
		心理演習Ⅱ		○	○	○		
		心理実習		○		○	○	○
	教育・生涯スポーツ領域	スポーツ社会学	教育・生涯スポーツの分野の専門的な知識を修得し、現場での実践力を身につけている。	○				
		スポーツ教育学		○	○			
		コーチング論		○	○	○		
		トレーニング論		○	○	○		
		教育調査論		○		○		○
		教育学		○	○		○	
		地域教育論		○				
総合的な学習の時間の指導法		○						
教育方法論(ICT活用を含む)		○		○		○		
教育の制度と経営		○						
	卒業論文	4年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、研究を行い、卒業論文(卒業研究)にまとめる。	○	○	○	○	○	

II 食物栄養科学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

1) 食物栄養学科

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を修得している。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を修得している。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力を修得している。発信力、日本語力、外国語力なども含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を修得している。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		教養力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
食物栄養科学 基盤領域	導入演習 (食物栄養)		○			○
	基礎演習 (食物栄養)	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、また、本学も建学の理念や教育方針とともに、栄養学および健康科学を学修するための社会的意義を理解している。食物学や栄養学を学ぶための基盤領域の分野の学修を通じて、人間や社会、学問等について基礎的素養を身につけている。	○	○	○	
	学生生活における健康管理		○			○
	アカデミック・スキルズ		○	○	○	
	食とバイオ		○	○		
	一般化学		○	○		
	食生活論		○		○	○
	グローバル食文化研修 I		○	○	○	
	グローバル食文化研修 II		○		○	
コア1 地域社会総合領域	大学史と別府大学			○		
	グローバルと文化		○	○		○
	キャリア教育 I		○	○	○	
	キャリア教育 II		○	○	○	○
	インターンシップ基礎		○	○	○	○
	インターンシップ I		○	○	○	
	インターンシップ II		○	○	○	
	インターンシップ III		○	○	○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○		
	NPO論		○			
	トップマネジメント講話		○	○		
	手話		○		○	
	地域と世界農業遺産		○			○
	世界農業遺産体験演習		○	○		○
	世界農業遺産マネジメント演習		○			
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	
	災害支援と防災対策		○	○		
	汎領域研究 1 (単位互換)		○			
	汎領域研究 2 (単位互換)		○			
	汎領域研究 3 (単位互換)		○			
汎領域研究 4 (単位互換)		○				

コア2 人間と文化探求領域	文学	地域社会について、一つの分野に偏らずに、自然科学、社会科学および人文科学の融合した多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。 人間と文化、社会科学の理解、自然科学と情報の理解に必要な教養を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。	○	○			○
	科学史		○				
	哲学		○	○			
	倫理学		○	○			
	生命倫理学		○	○			
	歴史学		○	○			
	文化史		○	○			
	体育実技 I		○		○		
	体育実技 II		○		○		
	スポーツと健康		○				○
	心理学 I		○	○		○	○
	心理学 II		○	○	○	○	
	コア3 社会科学探求領域		法学(日本国憲法)	○	○		
法律学			○	○			
社会学			○	○			
マスコミ論			○	○		○	
コア4 自然科学・情報基盤領域	科学技術論		○				
	生物学		○	○			
	科学と社会		○				
	数学基礎 I		○				
	アルゴリズムとプログラミング		○				○
	統計学 I		○	○			
	データサイエンス基礎		○				○
	情報リテラシー		○			○	○
	数理・データサイエンス入門	○				○	
	データエンジニアリング基礎	○				○	
	AI基礎	○					
	コア5 国際理解のための言語領域	英語 1	○	○	○	○	
英語 2		○	○		○		
英語 3		○			○		
英語 4		○			○		
英語 5		○					
英語 6		○					
TOEIC 1		○	○	○		○	
TOEIC 2		○	○	○		○	
英語語彙 1		○					
英語語彙 2		○					
英語ステップアップ演習 1		○	○		○		
英語ステップアップ演習 2		○	○		○		
フランス語基礎 1		○	○	○	○		
フランス語基礎 2		○	○	○	○		
中国語基礎 1		○		○	○		
中国語基礎 2		○			○		
韓国語基礎 1		○			○		
韓国語基礎 2		○			○		
ドイツ語基礎 1		○			○		
ドイツ語基礎 2		○			○		
海外語学研修 1		○	○		○		
海外語学研修 2		○	○		○		
海外語学研修 3		○	○		○		
海外語学研修 4		○	○		○		

2) 発酵食品学科

授 業 科 目		学修成果の目標					
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
食物栄養学科 基盤領域	導入演習（発酵食品）	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○	○	○		
	基礎演習（発酵食品）		○		○	○	
	学生生活における健康管理		○			○	
	アカデミック・スキルズ		○	○		○	
	食とバイオ		○	○			
	一般化学		○		○		
	食生活論		○			○	
	グローバル食文化研修Ⅰ		○	○		○	
	グローバル食文化研修Ⅱ		○				
コアⅠ 地域社会総合領域	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○				
	グローバルと文化		○	○	○	○	
	キャリア教育Ⅰ		○	○		○	
	キャリア教育Ⅱ		○		○	○	
	インターンシップ基礎		○	○		○	
	インターンシップⅠ		○	○		○	
	インターンシップⅡ		○	○		○	
	インターンシップⅢ		○	○		○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
	NPO論		○				
	トップマネジメント講話		○	○	○		
	手話		○			○	
	地域と世界農業遺産		○			○	
	世界農業遺産体験演習		○	○		○	
	世界農業遺産マネジメント演習		○				
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	
	災害支援と防災対策		○		○		
汎領域研究1（単位互換）	○						
汎領域研究2（単位互換）	○						
汎領域研究3（単位互換）	○						
汎領域研究4（単位互換）	○						
コアⅡ 人間と文化探求領域	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○		○	
	科学史		○				
	哲学		○				
	倫理学		○	○			
	生命倫理学		○	○			
	歴史学		○	○			
	文化史	○	○				
	体育実技Ⅰ	健康の管理と健康保持に果たす運動の役割を理解する	○		○		
	体育実技Ⅱ		○		○		
	スポーツと健康		○	○		○	
心理学Ⅰ	○		○		○		
心理学Ⅱ	○	○	○	○			
コアⅢ 社会科学探求領域	法学(日本国憲法)	現代社会の理解に必要な教養を身につける	○	○		○	
	法律学		○	○		○	
	社会学		○				
	マスコミ論		○	○		○	

コア4 自然科学・情報基盤 領域	科学技術論	科学技術と環境の理解に必要な 教養を身につける 情報の収集・作成・加工・発信の 基礎スキルを身につける	○				
	生物学		○	○			
	科学と社会		○				
	数学基礎I		○				
	アルゴリズムとプログラミング		○				○
	統計学I		○	○			
	データサイエンス基礎		○				
	情報リテラシー		○			○	○
	数理・データサイエンス入門		○				○
	データエンジニアリング基礎		○				○
	AI基礎		○				
コア5 国際理解のための言 語領域	英語1	英語の基礎的なコミュニケーショ ン能力を身につける 英語以外の外国語の基礎を修得 し、国際的な視野を広める	○	○	○	○	
	英語2		○	○		○	
	英語3		○	○	○	○	○
	英語4		○	○	○	○	○
	英語5		○				
	英語6		○				
	TOEIC1		○	○	○		○
	TOEIC2		○	○	○		○
	英語語彙1		○				
	英語語彙2		○				
	英語ステップアップ演習1		○	○		○	
	英語ステップアップ演習2		○	○		○	
	フランス語基礎1		○	○	○	○	
	フランス語基礎2		○	○	○	○	
	中国語基礎1		○	○	○	○	
	中国語基礎2		○	○		○	
	韓国語基礎1		○			○	
	韓国語基礎2		○			○	
	ドイツ語基礎1		○			○	
	ドイツ語基礎2		○			○	
海外語学研修1	○	○		○			
海外語学研修2	○	○		○			
海外語学研修3	○	○		○			
海外語学研修4	○	○		○			

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

授業科目の名称		学修成果の目標				
		教養	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
日本語	総合日本語1 (読む・書く)	○	○		○	
	総合日本語2 (読む・書く)	○	○		○	
	総合日本語3 (聴く・話す)	○			○	
	総合日本語4 (聴く・話す)	○			○	
	アカデミック日本語1 (口頭発表)	○			○	○
	アカデミック日本語2 (口頭発表)	○			○	○
	アカデミック日本語3 (論文作成)	○			○	
	アカデミック日本語4 (論文作成)	○			○	
	アカデミック日本語5 (言語知識)	○			○	
	アカデミック日本語6 (言語知識)	○			○	

3. 食物栄養科学部専門科目群

1) 食物栄養学科専門科目カリキュラムマップ (令和8年度入学生)

学習成果の目標の各項目		学習成果の目標の各項目の詳細
専門力		下記の表の各科目区分に記載
学修成果の目標 (ディプロマポリシー)	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を修得している。判断力、創造力、企画力などを含む。
	(2) 実行力	組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を修得している。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
	(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力を修得している。発信力、日本語力、外国語力なども含む。
	(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を修得している。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
専門基礎分野	社会・環境と健康	社会福祉論	○	○		
		社会福祉援助技術実習	○		○	○
		健康管理概論	○			○
		公衆衛生学Ⅰ	○	○		
		公衆衛生学Ⅱ	○	○		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	○			○
		解剖生理学実験	○			○
		生化学Ⅰ	○			○
		生化学Ⅱ	○			○
		生化学実験	○		○	○
		運動生理学	○	○		
		運動生理学実験	○			○
		医学概論・臨床医学入門	○			○
		病態生理学	○			○
	微生物学(生体防御を含む)	○			○	
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	○	○		
		食品学Ⅱ	○	○		
		食品学実験	○	○		○
		食品加工学	○	○		○
		食品加工学実習	○	○	○	
		調理学	○			○
		基礎調理実習	○		○	
		調理実習	○	○		
		応用調理実習	○	○		
		調理学実験	○		○	○
		食品衛生学	○		○	
	食品衛生学実験	○		○	○	
	基礎栄養学	基礎栄養学	○		○	
		基礎栄養学実験	○	○	○	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	○	○		
		応用栄養学Ⅱ	○	○	○	○
		応用栄養学Ⅲ	○	○		○
		応用栄養学実習	○	○		○
実践栄養学実習		○	○	○	○	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	○		○		
	栄養教育論Ⅱ	○	○			
	栄養カウンセリング論	○		○		

授 業 科 目			学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
			専門力	汎用力				
				思考力	実行力	表現力	情報力	
専門分野	栄養教育論実習	栄養教育論実習	実習技能を身につけている。	○	○			
		栄養カウンセリング実習		○	○			
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	傷病者・クライアントの病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理を行うために、栄養管理プロセス(栄養スクリーニング、栄養評価、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価)について理解し、傷病者・クライアントの栄養指導に関する実習技能を身につけている。	○	○	○		
		臨床栄養学Ⅱ		○		○	○	
		臨床栄養学Ⅲ		○		○	○	
		臨床福祉介護論		○	○		○	○
		臨床栄養学実習		○	○		○	
		臨床介護栄養実習		○		○		○
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	国や地域社会の健康・栄養問題や政策および活動、関連要因の情報収集・課題分析について学び、公衆栄養活動の計画立案・実施・評価等について理解し、それに関する実習・演習技能を身につけている。	○				○
		公衆栄養学Ⅱ		○			○	
		地域栄養活動演習		○	○			
		公衆栄養学実習		○			○	
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	給食運営および物資や人材の資源の利用方法を学び、栄養面・衛生面・安全面・経営面の管理について理解し、総合的マネジメントに関する実習技能を身につけている。	○	○			
		給食経営管理論Ⅱ		○	○			
		給食経営管理実習		○		○		
	総合演習	実験・実習事前総合演習	専門基礎分野と専門分野を横断した栄養学および健康科学について理解し、それらを活用できる総合的な能力を身につけている。	○	○	○		
		総合栄養マネジメント演習Ⅰ		○	○			
		総合栄養マネジメント演習Ⅱ		○	○			
		総合栄養マネジメント演習Ⅲ		○	○			
	臨地実習	臨床栄養学臨地実習	管理栄養士の活動の場での栄養評価・栄養管理を行うために必要な知識と技術および関連職種との連携を理解し、それらを行うための技術を校外実習で身につけている。	○	○			
		公衆栄養学臨地実習		○		○		
		給食運営臨地実習		○	○			
	特別演習	管理栄養士演習Ⅰ	専門基礎分野と専門分野を横断した栄養学および健康科学について理解し、それらを活用できる総合的な能力を身につけている。	○				○
管理栄養士演習Ⅱ		○		○				
管理栄養士発展演習Ⅰ		○		○				
管理栄養士発展演習Ⅱ		○					○	
専門演習	実践専門演習Ⅰ	実践的な活動の場での課題の発見と解決を通して、卒後に栄養士・管理栄養士として必要な知識・技能を理解し、演習を通じて身につけている。	○			○		
	実践専門演習Ⅱ		○			○		
自由選択科目	フードスペシャリスト論	栄養士・管理栄養士として、より深化した多角的な知識や複合的な技術を身につけている。	○			○	○	
	フードコーディネーター論		○	○			○	
	フードマーケティング論		○		○			
	知的財産所有論		○					
	実践スポーツ栄養学		○	○				
	栄養生化学		○	○				
	健康増進論		○	○				
	医と食		○		○	○		
	食物アレルギーと栄養指導		○	○			○	
	病態栄養医学		○				○	
	地域健康支援演習		○	○				
	地域健康・運動指導実習		○		○			
	地域社会連携PBL1		○	○	○	○	○	
	地域社会連携PBL2		○	○	○	○	○	
	地域社会連携PBL3		○	○	○	○	○	
	AI・データサイエンス実践		○		○		○	
災害支援チーム医療論	○							
栄養教諭免許科目	学校栄養指導論Ⅰ	栄養教諭に必要な栄養指導についての知識・技能を理解し、演習を通じて身につけている。	○	○	○			
	学校栄養指導論Ⅱ		○	○				
卒業論文			○	○	○	○	○	

2) 発酵食品学科専門科目カリキュラムマップ (令和8年度入学生)

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標 の各項目の詳細
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1)思考力 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力 自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

授業科目		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)						
		専門力	汎用力					
			思考力	実行力	表現力	情報力		
専門基礎科目	化学の基礎	基礎化学	発酵食品学科で学ぶための化学に関する基礎知識を身につけている。	○			○	
		分析化学		○				
		有機化学		○				
	バイオサイエンスの基礎	生化学 I	バイオサイエンスに関して、基礎的な知識および実験スキルを身につけている。	○	○			○
		細胞生物学		○				○
		微生物学		○	○			
		バイオテクノロジー論		○	○			○
		生化学実験		○	○	○	○	○
	発酵の基礎	発酵食品学	発酵に関して、基礎的な知識および食品製造スキルを身につけている。	○	○			
		発酵食品製造実習		○	○	○	○	
	食の流通・衛生の基礎	フードシステム論	食の流通・衛生に関して、基礎的な知識およびスキルを身につけている。	○	○			○
		食品保蔵学		○	○			○
		会計学の基礎		○	○		○	○
		簿記		○	R9開講			
		公衆衛生学		○	○			○
		食品衛生学		○		○		
	香りの基礎	香料学概論	香料に関して、基礎的な知識およびスキルを身につけている。	○				○
		香料化学		○				○
	フードサイエンスの基礎	食品化学	フードサイエンスに関して、基礎的な知識および実験スキルを身につけている。	○	○			
		食品分析学		○	○			○
		食品分析化学実験		○	○	○	○	
	健康の基礎	医学概論	健康に関して、基礎的な知識およびスキルを身につけている。	○				○
		栄養化学		○	○			
		保健栄養食品学		○	○			

		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)						
			汎用力					
専攻科目								
専門科目	バイオサイエンス	分子生物学	バイオサイエンスに関して、専門的な知識、実験スキルおよび実践力を身につけている。	○	○			
		生化学Ⅱ		○	○			○
		微生物工学		○	○			○
		細胞工学		○				○
		微生物工学実験		○			○	
		環境微生物学		○	○			○
		資源環境科学総論		○	○			
		生体機能分子学実験		○		○	○	○
	発酵	醸造微生物学	発酵に関して、専門的な知識、実験スキルおよび実践力を身につけている。	○	○			
		酵母学		○				○
		酒類製造学		○	○			○
		調味食品学		○	○			○
		酒類生産学実験		○		○		
	食の流通・衛生	品質鑑定論	食の流通・衛生に関して、専門的な知識、実験スキルおよび実践力を身につけている。	○				○
		食品関係法規		○		○		
		食品衛生学実験		○		○		○
		フードマーケティング論		○		○		
		地域経営論		○	○			○
	香り	香料機能学	香料に関して、専門的な知識、実験スキルおよび実践力を身につけている。	○		○		○
		香料学実験		○	○	○		
	フードサイエンス	食品加工学	フードサイエンスに関して、専門的な知識および実践力を身につけている。	○	○			○
		食品加工学実習		○	○	○		
	総合演習	発展演習	就職活動に必要な技能および自身のキャリアプラン策定力を身につけている。	○		○		○
		専門演習		○	○		○	○
	関連科目	物理学	発酵食品学科に関連するサイエンスをより深く理解するため、物理学、地学およびデータサイエンスの知識およびスキルを身につけている。	○	○	○		
		基礎地学		○				○
		物理学実験		○	○			
		基礎地学実験		○				
A I ・ データサイエンス実践		○			○		○	
	地域社会連携PBL 1	実社会で役立つ実践的な能力(課題解決力、コミュニケーションスキル、情報収集・ICT活用力、自己管理、社会的スキル)を身につけている。	○	○	○	○	○	
	地域社会連携PBL 2		○	○	○	○	○	
	地域社会連携PBL 3		○	○	○	○	○	
	外書講読	英文の科学論文を読み、英語論文の講読・作成に必要な力を高める。	○	○	○	○	○	
	卒業研究	卒業研究を完遂するために必要な課題発見力、科学的分析力および課題解決力を身につけている。	○	○	○	○	○	
	卒業論文		○	○	○	○	○	
	論文作成法	論文の作成に必要な知識・技能を身につけている。	○	○	○	○	○	

III 国際経営学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標 の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	教養	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
基礎ゼミ	導入演習 (国際経営)	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する	○			○	
	基礎演習 (国際経営)		○			○	
コア1 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○				
	グローバルと文化		○	○	○		○
	キャリア教育 I		○	○		○	
	キャリア教育 II		○		○	○	○
	インターンシップ基礎		○	○		○	○
	インターンシップ I		○	○		○	
	インターンシップ II		○	○		○	
	インターンシップ III		○	○		○	
	市民生活とアーカイブズ		○	○	○		
	NPO論		○				
	トップマネジメント講話		○	○	○		
	手話		○			○	
	地域と世界農業遺産		○				○
	世界農業遺産体験演習		○	○			○
	世界農業遺産マネジメント演習		○				
	地域社会フィールドワーク演習		○	○	○	○	
	災害支援と防災対策		○		○		
	汎領域研究 1 (単位互換)		○				
汎領域研究 2 (単位互換)	○						
汎領域研究 3 (単位互換)	○						
汎領域研究 4 (単位互換)	○						
コア2 人間と文化の探求	文学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○	○			○
	哲学		○	○			
	倫理学		○	○			
	生命倫理学		○	○			
	心理学 I		○	○		○	○
	心理学 II		○	○	○	○	
	歴史学		○	○			
	文化史		○	○			
科学史	○						

コア科目

	社会思想史		○	○			
	体育実技 I		○		○		
	体育実技 II		○		○		
	スポーツと健康		○	○			○
コア 3 現代社会の多 面的理解	法学(日本国憲法)	現代社会の多面的理解に必要な 教養を身につける	○	○			○
	法律学		○	○			○
	行政法		○	○			○
	社会学		○				
	地域福祉論		○				
	社会調査法		○				
	政治学		○	○	○		○
	マスコミ論		○	○		○	
	国際関係論		○	○			○
	地域環境論		○				
	国際理解 I		○			○	○
	国際理解 II		○				
	ボランティア活動論		○	○			○
	人権教育論		○	○			
コア 4 科学と情報	生物学	自然環境の理解に必要な教養を 身につける	○	○			
	数学基礎 I		○				
	アルゴリズムとプログラミング		○				○
	化学基礎		○			○	○
	科学技術論		○				
	科学と社会		○				
	情報リテラシー	情報の収集・作成・加工・発信の 基礎スキルを身につける	○			○	○
	数理・データサイエンス入門		○				○
	論理学		○	○			
	統計学 I		○	○			
	データサイエンス基礎		○				
	データエンジニアリング基礎		○				○
	A I 基礎		○				
コア 5 国際理解のた めの言語	英語 1	外国語の基礎的なコミュニケー ション能力を身につける	○	○	○	○	
	英語 2		○	○		○	
	英語 3		○	○	○	○	○
	英語 4		○	○	○	○	○
	英語 5		○				
	英語 6		○				
	TOE I C 1		○	○	○		○
	TOE I C 2		○	○	○		○
	TOE I C 3		○	○	○		
	TOE I C 4		○	○	○		
	英語語彙 1		○				
	英語語彙 2		○				
	英語ステップアップ演習 1		○	○		○	
	英語ステップアップ演習 2		○	○		○	
	ドイツ語基礎 1		○			○	
	ドイツ語基礎 2		○			○	
	ドイツ語コミュニケーション 1		○			○	
	ドイツ語コミュニケーション 2		○			○	
	フランス語基礎 1		○	○	○	○	
	フランス語基礎 2		○	○	○	○	
フランス語コミュニケーション 1	○						
フランス語コミュニケーション 2	○						
中国語基礎 1	○	○	○	○			
中国語基礎 2	○	○		○			

	中国語コミュニケーション1		○	○	○	○	
	中国語コミュニケーション2		○	○	○	○	○
	韓国語基礎1		○			○	
	韓国語基礎2		○			○	
	韓国語コミュニケーション1		○			○	
	韓国語コミュニケーション2		○			○	
	海外語学研修1	英語の文献読解力を高める	○	○		○	
	海外語学研修2		○	○		○	
	海外語学研修3		○	○		○	
	海外語学研修4		○	○		○	

2. 外国人留学生及び帰国子女を対象にした科目カリキュラムマップ

区分	授業科目の名称	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		教養	汎用力				
			思考力	実行力	表現力	情報力	
日本語	総合日本語1 (読む・書く)	外国人留学生が大学で専門的な学修ができるための必要な日本語力を身につける	○	○		○	
	総合日本語2 (読む・書く)		○	○		○	
	総合日本語3 (聴く・話す)		○			○	
	総合日本語4 (聴く・話す)		○			○	
	アカデミック日本語1 (口頭発表)		○			○	○
	アカデミック日本語2 (口頭発表)		○			○	○
	アカデミック日本語3 (論文作成)		○			○	
	アカデミック日本語4 (論文作成)		○			○	
	アカデミック日本語5 (言語知識)		○			○	
	アカデミック日本語6 (言語知識)		○			○	

3. 国際経営学部専門科目群

1) 国際経営学部 専門関連科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標 の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
関連科目	日本史概論 1	○	○		○	
	日本史概論 2	○	○		○	
	世界史概論 1 (西洋史)	○	○			
	世界史概論 2 (東洋史)	○		○		
	図書館概論	○	○			
	生涯学習論 I	○				
	図書館サービス概論	○				
	情報サービス論	○				
	児童サービス論	○				

2) 国際経営学科専門科目カリキュラムマップ (令和7年度入学生)

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				
		専門力	汎用力			
			思考力	実行力	表現力	情報力
演習科目	発展演習 1 (国際経営)	専門の基礎的な知識・能力を高める	○		○	
	発展演習 2 (国際経営)		○		○	
	専門演習 1 (国際経営)	専門の知識や考え方を深めるとともに、課題の探求力、発表能力などを高め、卒業演習につなげる	○	○	○	○
	専門演習 2 (国際経営)		○	○	○	○
	卒業演習 1 (国際経営)	テーマを絞って専門の学修を深め、4年間の集大成となる卒業論文又は卒業研究を完成させる	○	○	○	○
	卒業演習 2 (国際経営)		○	○	○	○
共通基礎科目	経営学の基礎	専門分野の科目を学ぶための基礎的な知識・技能を身につける	○	○	○	○
	会計学の基礎		○	○	○	○
	観光・地域経営の基礎		○	○		
	ビジネスリテラシー		○	○		
	簿記 I		○	○		
	簿記 II		○	○	○	
	経済原論		○	○		
	ファイナンスリテラシー		○	○		
	観光リテラシー		○	○	○	○
経営学分野	マーケティング論	経済学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につける	○		○	
	経営管理論		○	○		○
	生産システム論		○	○		
	経営組織論		○	○		
	経営史		○	○		
	経営情報論		○	○		
	経営戦略論		○	○		
	中小企業経営論		○	○		
	経営意思決定論		○	○		
	企業論		○	○		
	流通論		○		○	
	品質管理		○	○		
	スポーツマネジメント		○	○		○
	リーダーシップ論		○	○	○	○
	国内企業研修		○			

学科専門

経済学分野	マクロ経済学	経済学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	○			○
	ミクロ経済学		○	○			
	ファイナンス論		○	○			
	銀行論		○				
会計学分野	上級簿記Ⅰ	会計学についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○				○
	上級簿記Ⅱ		○				○
	上級簿記Ⅲ		○				○
	上級簿記Ⅳ		○				○
	財務会計		○	○	○		
	原価計算		○				
	財務諸表論		○				
	管理会計		○	○			
	税務会計		○	○			
	経営分析		○	○			○
	観光・地域経営分野		観光資源論		○	○	
環境と経済		○	○				○
旅行業実務		○					
旅行地理		○					
エネルギー戦略論		○	○				○
観光と地域		○	○		○	○	
文化観光論		○	○		○		
観光マネジメント		○					
地域経営論		○	○				○
地域社会連携PBL1		○	○		○	○	○
地域社会連携PBL2		○	○		○	○	○
地域社会連携PBL3		○	○		○	○	○
法律分野		民法	経営に関連した法律についての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。		○	○	
	税法概論	○		○			
	ビジネス法務	○		○		○	○
国際分野	国際コミュニケーション	経営に関連した国際関係の基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○				○
	国際マーケティング		○				○
	国際経営論		○				
	アジア経営		○				○
	多国籍企業論		○				
	国際会計		○	○			○
	国際観光論		○	○	○		
	国際経済学		○	○			
	中国経済論		○	○			
	貿易論		○	○	○		
	海外企業研修		○				
情報分野	情報社会論	経営に関連した情報システムについての基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○				○
	プログラミング		○	○			○
	AI・データサイエンス実践		○		○		○
地域創生プロジェクト	地域創生プロジェクト1	PBL型授業によって地域や企業等の課題解決、連携事業等に具体的に取り組み、その実践体験を通じて経営に必要な資質・能力を高める。	○	○	○	○	○
	地域創生プロジェクト2		○	○	○	○	
	地域創生プロジェクト3		○	○	○	○	
	地域創生プロジェクト4		○				
	地域創生プロジェクト5		○				
キャリアアップ科目	旅行キャリアアップⅠ(旅行業法・約款)		○				
	旅行キャリアアップⅡ(旅行実務)		○				
	リテールマーケティングキャリアアップ		○				○
	情報処理キャリアアップ		○				○
	簿記キャリアアップⅠ		○	○			
	簿記キャリアアップⅡ		○				○
	上級簿記キャリアアップ		○				

公務員分野	マクロ経済学特別講義	経営に関連した基本的な知識を身につけ、それを実践で活用する能力を身につけている。	○	○				
	ミクロ経済学特別講義		○	○				
	公務員実務演習Ⅰ		○	○				
	公務員実務演習Ⅱ		○	○				
	公務員実務演習Ⅲ		○	○				
	公務員実務演習Ⅳ		○	○				
	公務員実務演習Ⅴ		○	○				
	公務員実務演習Ⅵ		○	○				
	公務員実務演習Ⅶ		○					
教職分野	地理学の基礎		○	○	○	○	○	
	政治学概論		○	○	○		○	
	社会学概論		○	○	○	○	○	
	法律学概論		○	○				
	国際関係概論		○	○			○	
	情報処理実習		○				○	
卒業論文	卒業論文	4年間の学修の総仕上げとして、自らテーマを設定し、研究を行い、論文にまとめる。	○	○	○	○	○	

IV 看護学部

1. 教養科目群カリキュラムマップ

学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	DP1: 全人的な人間理解と尊厳、権利擁護、探求心、広い視野で物事を多角的にとらえる姿勢
	DP2: 看護活動に必要なコミュニケーション能力、論理的思考力、情報リテラシー
	DP3: 様々な健康レベルにある対象の生活、健康状態を判断する専門的知識
	DP4: 看護の本質理解とその人らしい生活を支援する援助的人間関係に基づいた看護実践力
	DP5: チーム医療における多職種連携・協働、地域特性に応じた看護実践能力
	DP6: 看護専門職としての役割理解、グローバルな視点で専門性を発展させていこうとする姿勢、自己研鑽、看護学の発展に寄与しようとする姿勢

科目区分	授業科目の名称		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)							
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6		
看護学部基盤ゼミ	基盤ゼミ導入演習	大学教育に必要な基礎的素養を身につけ、建学の理念や教育方針等を理解する		○						
	基盤ゼミ発展演習			○						
コア科目	コア1 学際科目	大学史と別府大学	特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につける	○						
		地域と世界農業遺産		○						
		グローバルと文化		○						
		キャリア教育 I		○						
		災害支援と防災対策		○	○					
		地域フィールドワーク演習		○	○					
	コア2 人間と文化の探求	哲学	人間と文化の探求に必要な教養を身につける	○						
		文学		○						
		心理学 I		○						
		歴史学		○						
		生命倫理学		○						
		スポーツと健康		○						
	コア3 現代社会の多面的理解	経済学	現代社会の多面的理解に必要な教養を身につける	○						
		地域福祉論		○						
		教育学		○						
		国際関係論		○						
		法律学		○						
		マスコミ論		○						
		人権教育論		○	○					
		ボランティア活動論		○	○					
法学（日本国憲法）		○								
コア4 科学と情報	論理学	自然環境の理解に必要な教養を身につける		○						
	生物学		○							
	数学基礎 I		○							
	アルゴリズムとプログラミング	情報の収集・作成・加工・発信の基礎スキルを身につける	○							
	統計学 I			○						
	数理・データサイエンス入門			○						
	データサイエンス基礎			○						
	データエンジニアリング基礎			○						
	AI基礎			○						
	情報リテラシー			○						
コア5 国際理解のための言語	医療英語コミュニケーション	外国語の基礎的なコミュニケーション能力を身につける		○						
	英語 I			○						
	英語 II			○						
	中国語基礎 I			○						
	中国語基礎 II			○						
	韓国語基礎 I			○						
	韓国語基礎 II			○						

2. 看護学部専門科目群

1) 看護学科専門科目カリキュラムマップ（令和7年度入学生）

学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	DP1: 全人的な人間理解と尊厳、権利擁護、探求心、広い視野で物事を多角的にとらえる姿勢
	DP2: 看護活動に必要なコミュニケーション能力、論理的思考力、情報リテラシー
	DP3: 様々な健康レベルにある対象の生活、健康状態を判断する専門的知識
	DP4: 看護の本質理解とその人らしい生活を支援する援助的人間関係に基づいた看護実践力
	DP5: チーム医療における多職種連携・協働、地域特性に応じた看護実践能力
	DP6: 看護専門職としての役割理解、グローバルな視点で専門性を発展させていこうとする姿勢、自己研鑽、看護学の発展に寄与しようとする姿勢

授業科目		学修成果の目標 (ディプロマポリシー)					
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
専門基礎分野	生物学的人間理解	生命科学			○		
		生体機能の調節Ⅰ			○		
		生体機能の調節Ⅱ			○		
		生体機能の調節Ⅲ			○		
		生体機能シミュレーション演習			○		
	疾病と回復過程の理解	病態・治療論			○		
		生命維持機能の障害と診断治療			○		
		運動機能の障害と診断治療			○		
		代謝機能の障害と診断治療			○		
		生殖機能の障害と診断治療			○		
		薬理学			○		
		臨床薬理学			○		
		放射線療法と人間の反応			○		
		心理学的支援法			○		
		リハビリテーションと人間の反応			○		
健康と栄養			○				
健康支援と社会保障制度	公衆衛生看護学概論			○			
	疫学			○			
	AI・データサイエンス実践			○			
	保健統計学			○			
	保健医療福祉行政論			○			

基礎看護学	看護学概論	看護とは何かという看護の概念を理解するとともに、全ての領域に応用できる原理・原則となる専門的知識・技術を理解し、基礎看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	看護理論						○		
	看護過程論						○		
	看護コミュニケーション論						○		
	ヘルスアセスメント						○		
	基礎看護方法論Ⅰ						○		
	基礎看護方法論Ⅱ						○		
	基礎看護方法論Ⅲ						○		
	家族看護論						○		
	基礎看護学実習Ⅰ						○	○	○
基礎看護学実習Ⅱ					○	○	○		
地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	地域・在宅看護の意義、目的、機能、役割を学び、教養科目群の「地域フィールドワーク演習」での地域生活への関心をもとに、基礎看護学の知識を活用して地域で暮らす対象の日常生活を支援する方法を理解し、地域・在宅看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	地域・在宅看護援助論Ⅰ						○	○	
	地域・在宅看護援助論Ⅱ						○	○	
	地域・在宅看護シミュレーション演習						○		
	地域・在宅看護学実習Ⅰ						○	○	○
	地域・在宅看護学実習Ⅱ						○	○	○
成人看護学	成人看護学概論	成人期の健康を維持・促進することの意義や看護の特徴と役割、各健康レベルにおける看護の特徴、多職種との連携・協働における看護職の役割、成人保健の動向と成人に関する保健医療福祉制度を理解し、成人看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	成人看護援助論Ⅰ						○		
	成人看護援助論Ⅱ						○		
	成人看護援助論Ⅲ						○		
	成人看護シミュレーション演習						○		
	成人看護学実習Ⅰ						○	○	○
	成人看護学実習Ⅱ						○	○	○
老年看護学	老年看護学概論	高齢者の加齢による身体・心理的变化や生活の変化、高齢者に特有な疾患・症状、高齢者の人権と倫理問題、尊厳等について理解し、老年看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	老年看護援助論						○		
	老年看護シミュレーション演習						○		
	老年看護学実習						○	○	○
小児看護学	小児看護学概論	小児の成長・発達段階各期の生理的・心理的・社会的特性及び看護の特徴と役割、小児や小児を取り巻く家族とのコミュニケーションや成長発達に合わせたケアアプローチを理解し、小児看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	小児看護援助論						○		
	小児看護シミュレーション演習						○		
	小児看護学実習						○	○	○
母性看護学	母性看護学概論	母性の概念、リプロダクティブヘルスケアに関する概念を理解し、対象となる母性の身体的、精神的、社会的特徴および母子保健の動向、母子に関連する法律、女性のライフステージにおける看護の概念について理解し、母性看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	母性看護学援助論Ⅰ						○		
	母性看護学援助論Ⅱ						○		
	母性看護シミュレーション演習						○		
	母性看護学実習						○	○	○
精神看護学	精神看護学概論	すべての発達段階の対象の、こころの健康を維持・増進できるように、また、こころの健康問題や病を持った人がその人らしさを取り戻し、その人が望む場で生活していくことを支援するための看護実践の基本的な知識と看護援助を理解し、精神看護学に関する援助技術を身につけている					○	○	
	精神看護援助論						○		
	精神看護シミュレーション演習						○		
	精神看護学実習						○	○	○
国際看護学	国際看護活動論	国際看護の概念、国際看護の必要性、国際的な医療支援や人道活動等の国際看護の実態について理解し、それらを活用できる能力を身につけている							○
	海外研修								

専門分野

看護の統合と発展	看護管理論	社会の変化に伴って起こる保健・医療・福祉へのニーズとして、多職種連携におけるチーム医療や看護の質を改善して能力、安全なケア提供の能力、看護学の専門性の発展に貢献するための能力を身につけている				○	○	○
	医療安全マネジメント論					○		
	看護研究の基礎							○
	看護研究の実践							○
	がん看護					○	○	○
	クリティカルケア					○	○	○
	リエゾン精神看護					○	○	○
	災害看護					○	○	○
	災害支援チーム医療論					○	○	○
	看護統合シミュレーション演習					○		
	看護マネジメント実習					○	○	○
	総合看護実習					○	○	○
公衆衛生看護学	保健医療福祉行政活動論	保健師の定義や使命、公衆衛生看護の理念、公衆衛生看護の倫理について考究する内容であり、看護職間の連携の必要性や、看護師のキャリア発達の分野でもあることを踏まえて公衆衛生看護学全般の基盤を身につけている				○	○	
	公衆衛生看護支援論 I					○	○	
	公衆衛生看護支援論 II					○	○	
	公衆衛生看護活動展開論 I					○	○	
	公衆衛生看護活動展開論 II					○	○	
	公衆衛生看護活動展開論 III					○	○	
	公衆衛生看護活動展開論 IV					○	○	
	公衆衛生看護管理論 I					○	○	
	公衆衛生看護管理論 II					○	○	
	公衆衛生看護学実習 I					○	○	○
	公衆衛生看護学実習 II					○	○	○

4. 教職に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー) 学修成果の目標	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目との関係	
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力		情報力
教職に	教職論	教職の意義、教員の役割、教員の職務内容等を理解し知識を修得する。	○				
	教育原論	教育の理念、歴史、思想を理解し知識を修得する。	○		○	○	○
	発達心理学	幼児、児童、生徒の心身の発達、学習の過程等を理解し知識を修得する(障害のある幼児、児童、生徒を含む)。	○	○	○		
	特別支援教育論		○	○	○		
	教育の制度と経営	教育に関する社会的、制度的、経営的事項を理解し知識を修得する。	○				
	教育課程論	教育の課程及び編成の方法を理解し知識を修得する。	○	○	○	○	○
	国語科教育法 I	各教科の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○				
	国語科教育法 II		○				
	国語科教育法 III		○	○			
	国語科教育法 IV		○	○			
	美術科教育法 I		○	○	○	○	
	美術科教育法 II		○			○	
	美術科教育法 III		○		○	○	
	美術科教育法 IV		○	○			
	社会科教育法 I		○				
	社会科教育法 II		○				
	社会科教育法 III		○				
	社会科教育法 IV		○				
	英語科教育法 I		○	○	○		○
	英語科教育法 II		○	○		○	○
	英語科教育法 III		○	○		○	
	英語科教育法 IV		○	○		○	
	地理歴史科教育法 I		○				
	地理歴史科教育法 II		○				
	公民科教育法 I		○				
	公民科教育法 II		○				
理科教育法 I	○	○		○			
理科教育法 II	○	○		○			
理科教育法 III	○			○			
理科教育法 IV	○			○			

に
関
する
科
目

商業科教育法 I		○		○		○
商業科教育法 II		○		○	○	
道徳教育の理論と指導法	道徳の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○				
特別活動論	特別活動の指導法を理解し知識と技能を修得する。	○				
総合的な学習の時間の指導法		○				
道徳、総合的な学習の時間及び特別活動論		○				
教育方法論 (ICT活用を含む。)	教育の方法及び技術(情報機器、教材の活用を含む)を理解し知識と技能を修得する。	○	○		○	
生徒指導論 (進路指導を含む。)	生徒指導の理論と方法(進路指導を含む)を理解し知識と技能を修得する。	○	○			
生徒指導論		○	○	○		
教育相談論	教育相談の理論と方法(カウンセリングの基礎知識を含む)を理解し知識と技能を修得する。	○	○	○		
実習指導	学校現場での教育実践を通じて授業や学校経営の実際を理解するとともに、自らの適性等を再確認する。	○	○		○	○
教育実習 I		○	○	○		
教育実習 II		○	○	○		
介護等体験実習指導	特別支援学校や社会福祉施設での実習を通じて介護の意義、目的、技術等を学び、個人の尊厳への理解を深める。	○	○	○	○	
介護等体験実習		○	○	○		
教職実践演習 (中・高)	教職課程で履修した科目を有機的に統合し修得した知識や技能を再確認する。	○	○		○	
教職実践演習 (栄養教諭)		○	○	○		
教育実習 I		○		○		
教育実習 II		○				
総合演習 (人権問題)	同和教育の思想や取組を学び人権問題への理解を深める。	○	○		○	
栄養教育実習指導	学校現場での教育実践を通じて授業や学校経営の実際を理解するとともに、自らの適性等を再確認する。	○		○		○
栄養教育実習		○	○	○		○
学校体験活動 I		○			○	
学校体験活動 II		○			○	
学校体験活動 III		○	○		○	
学校体験活動 IV		○				
教育実践 I		○				
教育実践 II		○				

(食物栄養学科)

(事前・事後の指導を含む。)

(事前・事後の指導を含む。)

5. 司書に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細
（ディプロマポリシー）	専門力	下記の表の各科目区分に記載
	汎用力	(1) 思考力 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力 自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目 との関係	
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力		情報力
基礎科目	生涯学習概論	図書館の意義、役割、歴史、制度、情報技術の基礎知識を修得する。	○				
	図書館概論		○	○			
	図書館情報技術論		○				
	図書館制度・経営論		○				
図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	図書館サービスの意義、方法、利用者の支援などの知識、及び情報サービスの実践的な技能を修得する。	○				
	情報サービス論		○				
	児童サービス論		○				
	情報サービス演習Ⅰ		○	○	○	○	
	情報サービス演習Ⅱ		○				
図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	図書館情報資源の特質、流通、書誌管理等に関する知識、及び情報資源組織業務の実践的な技能を修得する。	○	○			
	情報資源組織論		○				
	情報資源組織演習Ⅰ		○				
	情報資源組織演習Ⅱ		○				
選択科目	図書館基礎特論	図書館の各種サービスや情報資源についてさらに発展的・実践的な知識や技能を修得する。	○		○		
	図書館サービス特論		○			○	
	図書館情報資源特論		○	○			
	図書・図書館史		○				
	図書館施設論		○				
	図書館総合演習		○	○		○	
	図書館実習		○				

6. 司書教諭に関する科目カリキュラムマップ

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目 との関係	
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力		情報力
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	学校図書館の専門的職務を掌るために必要な知識と技能を修得する。	○				
	学校図書館メディアの構成		○				
	学習指導と学校図書館		○				
	読書と豊かな人間性		○				
	情報メディアの活用		○				

7. 学芸員に関する科目カリキュラムマップ

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目との関係					
		専門力	汎用力								
			思考力	実行力	表現力		情報力				
必須科目	生涯学習概論		○								
	博物館概論		○							文学部共通専門「博物館概論」	
	博物館展示論	学芸員として身につけなければならない博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行うために必要な知識と技能を修得する。	○								
	博物館資料論		○		○		○				
	博物館経営論		○	○							
	博物館資料保存論		○		○						
	博物館情報・メディア論		○								文学部共通専門「博物館情報・メディア論」
	博物館教育論		○	○							
博物館実習	○		○	○	○	○					
関連科目 (選択科目)	考古学概論			○	○		○	○			学部共通専門科目
	文化財科学概論		○	○						学部共通専門科目	
	世界遺産学概論		○			○				学部共通専門科目	
	民俗学概論		○			○				学部共通専門科目	
	環境歴史学概論		○							学部共通専門科目	
	美術史概論		○	○		○	○			学部共通専門科目	
	文化人類学		○	○						学部共通専門科目	
	日本美術史概論		○	○		○	○			国際言語・文化学科専門科目	
	東洋美術史概論		○							国際言語・文化学科専門科目	
	西洋美術史概論		○			○				国際言語・文化学科専門科目	
	日本史の基礎1		○	○						史学・文化財学科専門科目	
	日本史の基礎2		○	○						史学・文化財学科専門科目	
	世界史の基礎1 (西洋史)		○							史学・文化財学科専門科目	
	世界史の基礎2 (東洋史)		○	○						史学・文化財学科専門科目	
	分析化学		○	○						発酵食品学科専門科目	
	医学概論		○						○	発酵食品学科専門科目	
	香科学概論		○			○				発酵食品学科専門科目	
	調味食品学		○	○					○	発酵食品学科専門科目	
食品分析学		○	○					○	発酵食品学科専門科目		
基礎化学		○						○	発酵食品学科専門科目		

8. 日本語教員に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
(ディプロマポリシー)	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1) 思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2) 実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働力、傾聴力などを含む。
		(3) 表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4) 情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目との関係				
		専門力	汎用力							
				思考力	実行力	表現力	情報力			
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	文化史	言語・コミュニケーションと社会、文化、地域との関わりについて理解し、必要な知識を修得する。	○	○				文学部教養科目	
		国際関係論		○	○			○	文学部教養科目	
		日本語学講義4 (古代語の歴史)		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学講義5 (近代語の歴史)		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		日本語教育概論1		○	○	○			国際言語・文化学科専門科目	
		日本語教育概論2		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		日本語教育キャリア形成論		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学研究2 (現代語研究)		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		比較文化研究		○		○	○		文学部共通専門科目	
教育に関わる領域	言語と心理	言語習得概論	言語・コミュニケーションと社会、文化、地域との関わりについて理解し、必要な知識を修得する。	○			○		国際言語・文化学科専門科目	
		心理学Ⅰ		○	○		○	○	文学部教養科目	
		心理学Ⅱ		○	○	○	○		文学部教養科目	
	言語と教育	日本語教育教材論		○	○					国際言語・文化学科専門科目
		日本語教育実習指導1		○	○					
		日本語教育実習指導2		○	○					
		日本語教育実習1		○	○					
		日本語教育実習2		○	○					
		異文化共有論		○	○	○	○			文学部共通専門科目
情報リテラシー	○				○	○	文学部教養科目			

言語に関わる領域	言語	言語学概論	日本語教員として身につけることが望まれる専門分野の知識や技能を修得する。	○		○		○	国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学講義1 (音声言語)		○			○		国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学講義2 (日本語の語彙)		○			○		国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学講義3 (日本語の文法)		○			○		国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学研究4 (文字表記研究)		○					国際言語・文化学科専門科目	
		日本語学研究5 (古代語研究)		○	○				国際言語・文化学科専門科目	
		英語1		○	○	○	○		文学部教養科目	
		英語2		○	○		○		文学部教養科目	
		英語3		○	○	○	○	○	文学部教養科目	
		英語4		○	○	○	○	○	文学部教養科目	
		TOEIC1		○	○	○		○	文学部教養科目	
		TOEIC2		○	○	○		○	文学部教養科目	
		英語語彙1		○					文学部教養科目	
		英語語彙2		○					文学部教養科目	
		ドイツ語基礎1		○				○	文学部教養科目	
		ドイツ語基礎2		○				○	文学部教養科目	
		フランス語基礎1		○	○	○	○		文学部教養科目	
		フランス語基礎2		○	○	○	○		文学部教養科目	
		中国語基礎1		○	○	○	○		文学部教養科目	
		中国語基礎2		○	○		○		文学部教養科目	
		韓国語基礎1		○				○	文学部教養科目	
		韓国語基礎2		○				○	文学部教養科目	
		英会話1		○				○	○	文学部共通専門科目
		英会話2		○				○	○	文学部共通専門科目
		ビジネス日本語 (聴読解) 1		○	○			○		文学部共通専門科目
		ビジネス日本語 (聴読解) 2		○	○			○		文学部共通専門科目

9. 文書館専門職（アーキビスト）に関する科目カリキュラムマップ

	学習成果の目標 の各項目	学習成果の目標の各項目の詳細	
（ディプロマポリシー） 学修成果の目標	専門力	下記の表の各科目区分に記載	
	汎用力	(1)思考力	論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につける。判断力、創造力、企画力などを含む。
		(2)実行力	自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につける。主体性、協働性、傾聴力などを含む。
		(3)表現力	自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につける。発信力、日本語力、外国語力などを含む。
		(4)情報力	我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につける。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

科目区分	授業科目	学修成果の目標 (ディプロマポリシー)				教養科目・専門科目 との関係	
		専門力	汎用力				
			思考力	実行力	表現力		情報力
基礎科目	市民生活とアーカイブズ	文書館専門職に必要な基礎的な知識・技能を修得する。	○	○	○		文学部教養科目 文学部教養科目
	行政法		○	○		○	
	日本史の基礎		○	○			
	アーカイブズ論		○		○		
記録管理科目	アーカイブズ管理論	文書館専門職に必要な実践的・応用的な知識・技能を修得する。	○		○		史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目
	レコードマネジメント論Ⅰ		○		○		
	レコードマネジメント論Ⅱ		○	○	○		
	デジタルアーカイブズ		○		○	○	
記録資料科目	日本史講義1(古代・中世史料論)	文書館専門職として身につけることが望まれる関連専門分野の知識や技能を修得する。	○				史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目
	日本史講義2(近世史料論)		○	○			
	日本史講義3(近現代史料論)		○	○			
	世界史講義1(東洋史)		○				
	世界史講義2(アジア史)		○	○			
	法制史		○	○			
	国際交渉論		○	○	○	○	
	宗教史		○	○		○	
	日本史特講1(古代・中世史)		○	○			
	日本史特講2(近世史)		○	○			
日本史特講3(近現代史)	○	○					
実習科目	アーカイブズ実習Ⅰ	公文書館等での実習を通じて文書館専門職に必要な実践的知識・技能を修得する。	○				史学・文化財学科専門科目 史学・文化財学科専門科目
	アーカイブズ実習Ⅱ		○	○			